

べっぴ 市議会だより

2013.8.1

NO. 114



市民と議会との対話集会に向け開催した議員説明会風景

「市民と議会との対話集会」の開催決定

◎内容

議会からの報告

- ・市議会のしくみ
- ・議会改革の取り組み
- ・本年度の主な議決と審議内容

皆さんとの意見交換会

◎日時及び開催場所

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 9月26日(木) | 19時～20時30分 | 北部地区公民館 |
| 9月30日(月) | 19時～20時30分 | 西部地区公民館 |
| 10月2日(水) | 19時～20時30分 | 南部地区公民館 |
| 10月8日(火) | 19時～20時30分 | 朝日大平山地区公民館 |
| 10月10日(木) | 19時～20時30分 | 中部地区公民館 |
| 10月12日(土) | 15時～16時30分 | 中央公民館 |

議員一同、市民の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

CONTENTS

P2～3 議決内容、全員協議会審査ほか

P4～5 議案質疑、常任委員会審査

P6～11 一般質問（14人が市政を問う）

P12 永年勤続市政振興功労者表彰 ほか

平成25年第2回定例会

6月定例会は、まず補正予算や条例案件などの11議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会の審査の後、採決の結果、すべて原案のとおり可決・承認いたしました。また、最終日に別府市教育委員会委員の任命についての議案が上程され、採決の結果、同意を与えることといたしました。主な内容は以下のとおりです。

補正予算

- ◎平成25年度別府市一般会計補正予算
補正する額は1億4330万円で、総額443億330万円となります。主な事業は次のとおりです。
- ◇介護保険施設等複合型サービス事業所整備費に対する補助金 2000万円
- ◇子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査及び子ども・子育て会議設置の経費 344万8千円
- ※4ページ「議案質疑」に関連記事掲載
- ◇市営温泉「不老泉」施設解体工事費 2796万6千円
- ※5ページ「委員会審査」に関連記事掲載
- ◇耐震性貯水槽の整備費 2673万6千円
- ◇避難所の非常用備蓄品購入費 2201万7千円
- ◇津波被害を防止するための避難路整備費 1500万円

◇中小学校の理科教育の備品購入費 1150万円

◇体育施設設備改修費 409万5千円

※5ページ「委員会審査」に関連記事掲載

条例制定

◎別府市子ども・子育て会議条例の制定について
子ども・子育て支援法の規定に基づき別府市子ども・子育て会議を設置することに伴う条例制定

※4ページ「議案質疑」に関連記事掲載

人事

次の方を、委員に推薦することについて同意を与えることといたしました。

◎別府市教育委員会委員
明石光伸、小野和枝

その他

◎動産の取得について
消防ポンプ自動車を買入れようとしますもの

6月定例会 会期の経過

5月31日	議会運営委員会
6月7日	本会議(議案上程等)
12日	本会議(議案質疑等)
13日	本会議(一般質問)
14日	本会議(一般質問)
	議会運営委員会
17日	本会議(一般質問)
	広報広聴委員会
18日	常任委員会審査
21日	本会議(各委員長報告、討論、表決など)
	議会運営委員会

※ 次の定例会は9月5日(木)から20日(金)を予定しています。変更となる場合もあります。

◎和解及び損害賠償の額の決定について

※5ページ「委員会審査」に関連記事掲載

◎市長専決処分について

◇平成24年度別府市一般会計補正予算

◇平成25年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算

※4ページ「議案質疑」、5ページ「委員会審査」に関連記事掲載

◇別府市税条例、別府市都市計画税条例、別府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律が公布、施行されたことに伴う条例改正

◇屈折はしご付消防ポンプ自動車の購入に係る物品売買変更契約の締結

契約金額の減額に伴うもの

◇固定資産評価員の選任

地方税法の規定に基づくもの

意見書

議員より意見書4件が提出され、3件が原案のとおり採択されました。採択された意見書の要旨は以下のとおりで、直ちに内閣総理大臣、その他関係各大臣等へ送付されました。

◎ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書

国は、温泉所在都市に現存するホテル・旅館等の建築物の耐震化を迅速かつ円滑に推進するため、必要な財政支援措置の充実に努めるとともに、「建築



— 6月定例会本会議風景 —

物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律」の施行に当たっては、地方公共団体や当該建築物の所有者の実情等を十分踏まえ、必要な財政支援措置が確立されるまでは施行期限を延長すること及び耐震診断結果の公表を猶予するなど、特段の配慮がなされるよう要望する。

◎地方自治体の主体性の保障を求める意見書

政府は、平成25年度予算編成に当たり、地方交付税を削減し、その削減分を防災・減災事業に充てる方針を打ち出した。

今回、国は国民の同意を得やすい職員賃金の削減を求めているが、このことは、今後地方自治体の裁量に影響を及ぼす状況ともなりかねない。

よって、国会及び政府におかれては、これらのことを踏まえ、地方交付税の使途については、地方自治の本旨を尊重し、地方自治体の自由裁量に委ねることにより地方自

治体の主体性を保障するよう求める。

◎義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求める意見書

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。教育は未来への先行投資であり、子どもの学びを切れ目なく支援し、人材育成とその創出から雇用や就業の拡大につながるなければならぬ。このことも踏まえて、教育予算の拡充のた

め、以下のことを求める。
①子どもたちに、教育の機会均等と教育水準を保障するために必要不可欠な、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合増と、制度の拡充を図ること。
②きめ細かい教育の実現に向けて、学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保すること。

◎70歳から74歳の医療費1割負担の継続を求める意見書 (否決)

別府市見地速杵 圏域市町村事務組合議会議員

広域行政体制の整備を図るため事務組合が設置されており、2市1町により議員を選出します。

本市議会は13名の議員を選出いたしました。

三重	忠昭	野上	泰生
森山	義治	穴井	宏二
国実	久夫	黒木	愛一郎
平野	文活	松川	峰生
野口	哲男	堀本	博行
山本	一正	河野	数則
首藤	正		

「障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例」案について

別府市議会は4月23日に「障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例」案について全員協議会を開会しました。

市当局から条例の必要性、作業部会・タウンミーティングでの議論などの経過に加え、条例の特徴である「防災に関する合理的配慮」「親亡き後等の問題を解決するための取組」等について説明を受けました。これに対し、議員からは「具体的な事業についてどう考えているのか」「市民に責任を求めるのなら、市の合理的配慮が必要ではないか」「財源の裏付けはあるのか」「専任部署を設置しない」と実効性は上げられないのではないか」など質疑がありました。

今後、市議会では、厚生環境教育委員会にて所管事務調査を行い、引き続き調査研究を進めることといたしました。

議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。6月12日に4名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

国民健康保険事業 特別会計の赤字解消を

問 3月定例会の補正で2億円を一般会計から国民健康保険事業特別会計へ繰り入れ、累積赤字を解消したが、平成24年度の決算見込みで更に1億8千万円の歳入不足が生じた。この理由は何か。また、今後の国民健康保険事業の財政収支見通しはどうか。

答 昨年度の歳入歳出が確定していく中で3月の補正時点と比べ、歳入面で、国からの交付金である療養給付費負担金等が減少したこと。また、歳出面においては、保険給付費の見込み額が補正時

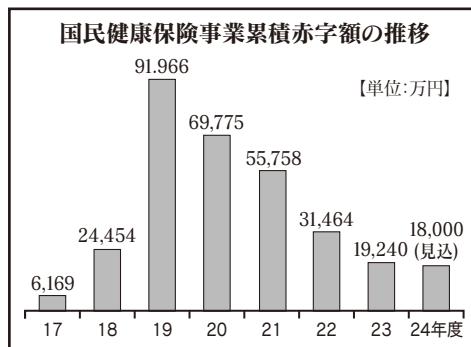
と比べて約1億円増加した。これらの理由により、1億8千万円の歳入不足が見込まれることとなった。

また、今後の財政収支については、医療費で毎年2%前後ぐらいは増加するのではないかと見込んでいる。一方、収入については、景気の停滞等により所得が増えていないため、保険税額自体は伸び悩んでいる。したがって厳しい財政状況が続くと見込まれる。

問 財政状況の改善についてどのように取り組んでいるのか。

答 歳入については、滞納処分の強化により、収

納率が向上し、昨年度保険税収入は増加した。また、歳出については、ジュネリック医療費の差額通知の実施により、前年度を上回る削減効果が見込まれている。特定健診の受診率についても、前年度を上回る見込みとなっている。



子ども子育て支援事業 計画の策定について

問 子ども・子育て会議の設置について、その目的や、委員の人選についてどう考えているのか。

答 市が支援事業計画を

更をしようとする場合において、その内容を審議いただく、地域の子育てに対する要望などを、支援事業計画に反映させたことと考えている。

また、委員の人選については、小学校や幼稚園、保育所、児童館、子育て支援センター等の関係者の方々に加え、民生委員、児童委員、地域医療の関係者等、幅広く参加していただきたいと考えている。

問 支援計画策定に当たってニーズ調査を行うということになっているがその方法は。

答 今回のニーズ調査は、小学生までのお子さんをお持ちの保護者の方々を対象に行う。その内容は、どのような教育、保育を保護者の方々が望んでいるのか、それから、どのような子育て支援を望んでいるのかについて調査するものである。お子さんの年齢層によってニーズもかなり変

わってくると思われるので、小学校高学年までのお子さんをお持ちの方々の家庭を均等に年齢別に割って、ニーズ調査を抽出して把握して行きたいと考えている。

問 子育て支援の課題について、どういうものを想定しているか。

答 新たな子ども・子育て支援制度について、主な目的は、待機児童の解消であり、今後はますます保育需要も高まってくるものと考えている。その需要を充足させるためには、当然のことながら保育所の定員増といった措置を講じる必要が生じる。あわせて施設の改修、それから定員に見合った保育士の確保等も必要になると思われる。財政的な負担も生じるので、需要に沿った対応が十分に行えるのかということが、今後の課題であると考えている。

委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。付託を受けた議案11件については、審査の結果、全て原案のとおり可決・承認すべきものと決定しました。主な審査の内容を掲載します。

総務企画消防委員会

国民健康保険事業特別会計補正予算について、本年度の予算から1億8千万円を繰上充用することにより、24年度の歳入不足を補てんするものとの説明がありました。

委員からは、保険給付費について、「どのような疾病が増加の原因になったのか」また「他市町村と比べてどうなのか」など調査や分析ができていない。

また、医療費の抑制については、健康づくりに関する事業は欠かせないと考えるが、本市ではその事業や予算が不十分である。関係各課を招集し

徹底的に検討を行い、予算を増額して事業の推進を行うべきとの意見がありました。

これに対し当局からは、健康づくり事業については、健康づくり推進課、高齢者福祉課、スポーツ健康課など各課でそれぞれ行っているのが現状である。今後は、統一的な考えを持って取り組むよう調整していきたいとの答弁がありました。

観光建設水道委員会

不老泉改築事業について、現在の施設を解体するための工事費を計上すること、また施設の建て替え後には不老泉用地の一部を別府商工会議所に

貸し付ける予定であることとの説明がありました。

委員からは、施設の建て替えは、住民の要望に十分配慮して行うよう要望がありました。また、不老泉施設の解体から新施設建設までに要する期間についての質疑があり、当局からは、解体工事から新施設ができて上がるまでには、約1年かかる見込みであるとの答弁がありました。



— 解体が決まった現在の不老泉 —

また、市道で発生した事故に伴う和解及び損害賠償について、当局から事故の詳細及び和解に至るまでの経緯について説

明がありました。

委員から市道の危険箇所調査を、自治会に協力していただいて行うべきではないかとの意見に対し、当局から、地元の方々に協力を求めた上で、全庁体制で、事故防止に努めていきたいとの答弁がありました。

厚生環境教育委員会

本年度に行われる生活保護基準の見直しに伴い、国からの全額補助により、システム改修を行うとの説明がありました。

委員より、基準見直しの内容について質疑があり、当局より、年齢、世帯人員、地域差による影響や物価動向を勘案した基準額の調整、また、必要な激変緩和措置の実施等であるとの説明を受けました。

また、体育施設整備に要する経費では、市営温水プールのボイラー及び総合体育館アリーナの音響設備の故障に伴う改修費を計上したとの説明が

ありました。

委員より、体育施設等について、改修が必要と思われる箇所についてはしっかりと対策を行うよう要望がなされ、これに対し当局より、安全に安心して利用できるよう改修計画を立て、きめ細かに対応していきたいとの答弁がありました。

議会中継のご案内

定例会はケーブルテレビ等でも視聴できます。

◎ケーブルテレビでの生中継

CTBメディア「とんぼチャンネル」で生中継していただきます。

◎インターネットでの生・録画中継

別府市議会ホームページ「議会中継」で生・録画中継しています。

※録画中継については、概ね1週間後から約1年間で中継をご覧ください。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。6月13日から17日の3日間、14名の議員が市当局の見解をたきました。主な内容は次のとおりです。

ドッグランについて

自民党議員団

松川 章三 議員

問 平成22年9月の第3回定例会で、「ドッグランの設置が必要ではないのか」との私の質問に対し、当時の公園緑地課長が「今後の検討課題にしたい」と答弁したが、その後の経過はどうなっているのか。

答 ドッグランについてどのような考えを持っているのか、市長の考えを聞きたい。

答 ドッグランの設置を求める市民グループより、1708人分の署名をいただいた。いかに多くの愛犬家がドッグランを必要としているかが分かった。観光客の皆様に来ていただくためにも、ドッグランは必要な施設であると考えている。



問 6月6日に愛犬家の人たちから、ドッグラン設置の署名入り要望書が市長に提出されている。

答 愛犬家の方と協議を行ったことはあるが、その後の進展がなく今日に至っている。大変申し訳なく思っている。

問 愛犬家の間では、今や犬は家族の一員となっており、ドッグランの設置は切実な願いである。愛犬家や公園利用者、また別府に訪れる愛犬家の観光客のためにも、ドッグランの設置を早期に実現していただきたい。

答 ドッグラン施設の設置により、公園利用者の安全性や衛生面の確保、また観光客の増加も見込めるなど、ドッグラン施設の必要性は十分理解している。今後、早期の設置に向け努力していきたい。

温泉まつり・食物アレルギーの対策は

自民党議員団

首藤 正 議員

問 来年は、市制90周年と温泉まつり100回記念を迎えるが、どの様な計画をしているのか。特に温泉まつりは、現状の祭りでは魅力がない。今日までの祭りを白紙に戻し、新しい発想での温泉

答 市制90周年の計画は、これから協議するが、市民の機運が上がるような計画を立案し祝いたい。温泉まつりは、新しい発想、企画等による実施に向け、市長が先頭に立ち新たな祭りとしてその確立を図りたい。



— 温泉まつりに新たな発想を —

まつりを創り上げるべきと厳しい内外の声が多いが、検討するべきではないか。

問 数の多いのには驚いた。この食物アレルギーの子どもたちを守るためにどのような対策をとっているのか。

答 市立の幼・小・中学校で129名、保育所で81名、合計210名の対象者がいる。

問 栄養士指導のもと、個人々のアレルギーの原因となる食材を除いた給食調理や代替食調理を行っているし、給食時には、担任・養護教諭などの教職員が十分な注意を指導している。重篤なアナフィラキシーショックを起す可能性のある児童・生徒等には、緊急時に備えて自己注射薬の「エピペン」を準備している。今後引き続き教職員・保育所職員に対して共通理解を深める研修会を実施していく。

問 東京都調布市の小学校でアレルギーの女児が給食後に亡くなり食物アレルギーの深刻さが注目された。別府市の学校、保育所の子どもたちの中

答 市制90周年の計画は、これから協議するが、市民の機運が上がるような計画を立案し祝いたい。温泉まつりは、新しい発想、企画等による実施に向け、市長が先頭に立ち新たな祭りとしてその確立を図りたい。

入札問題で
係争中裁判について

自民党議員団

山本 一成 議員

問 新聞報道によると長幸建設との賠償訴訟裁判で、浜田別府市長が証人尋問のために召喚されたとあったが、前代未聞の出来事であり、別府市民に与えた影響は大きい
答 全く予想してなかった事案であり、驚いているが、別府市民の方々にご迷惑やご心配をおかけして申し訳なく思っています。この際ですから裁判の中で、入札が適正に行われたことを堂々と主張していきたい。



高齢者・障がい者の
移動サービス

市民クラブ

森山 義治 議員

問 バス・タクシー事業者、住民の代表者、有識者、行政などで構成する地域公共交通会議の設置はいつ頃と考えているか。

答 別府市生活交通確保維持協議会の中で、今回実施したバス利用者の調査結果を基に、具体的な改善点や取り組みについて整理し、並行して地方公共交通会議、法定協議会等の設置について協議を進めていく。

問 高齢者の移動サービスについて、バス・タクシー乗り物共通券や、所得制限を設けた全国共通利用できるICカードの助成など様々な制度が考えられるが、ワンコインバス事業についてご見解を尋ねる。

答 限られた財源の中で、中山間地域など交通

不便地域や運動機能の低下した方などへの施策を優先する。現在、その検討課題に入っている。ワンコインバス事業は全ての高齢者が対象で厳しい。

問 新型のユニバーサルデザインタクシーに、車椅子使用の障がい者が利用するタクシー助成券が利用できるか。

答 利用者ニーズを把握し検討する。



— 車椅子使用の障がい者にタクシー助成を —

問 各学校統廃合に対し通学支援を。

答 通学距離が小学生は4km、中学生は6km以上であれば補助金制度を活用、高校生は全県一区のため困難。

問 電気自動車や電動バイクが普及している。購入時の助成制度や充電設備を市役所や観光場所に設置を。

答 急速充電ステーションなどインフラが整っていないため、市場動向を加味しながら検討していきたい。

国旗・国歌について

自民党議員団

松川 峰生 議員

問 日の丸は形があり、目に見えるが、国歌「君が代」は目に見えず精神的なものであり、祖先から伝承され、永久に日本人の精神的道徳の基盤をなすものである。国歌「君が代」を、児童・生徒に歌う意義を教えるのは、もちろん家庭での教育も重要だが、学校での教えが最も重要であると

思うが、見解を求める。

答 国旗・国歌はいずれの国におきましても国の象徴として尊重され、敬愛され、大切に扱われるべきものと認識しています。

問 入学式・卒業式における国歌斉唱について、学校長をはじめとし、教職員に対し教育委員会の強いリーダーシップで、国歌を児童・生徒がしっかりと歌えるよう指導すべきではないか。

答 卒業式・入学式を前にした定例の校長会議で、卒業式は厳粛・荘厳な雰囲気の中で、卒業の喜びを感じ、また、これから迎える新しい生活への意欲を持たせるとともに、日本国民としての誇りや所属感を育てる国旗・国歌の指導をするよう示達をしております。

問 学習指導要領では、国歌はどのように取り扱うよう書かれているのか。

答 小学校音楽では、国歌「君が代」はいずれの学年においても歌えるように指導すること。中学校音楽には記載がありません。中学校では国旗及び国歌の意義、並びにそれらを相互に尊重することが国際的な礼儀であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう配慮することあります。

**市長の支持者の
有罪判決と政治責任**

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

問 市長の支持者の有罪が確定したが、浜田市長はどう責任をとるのか。

答 二度と繰り返さないよう、また信頼回復するよう責任を果たしたい。

問 口では再発防止を言うが、真相解明に取り組む姿勢がない。第三者機関を設置し真相解明し教訓を生かすべき。不正に流れた委託料は返還請求するのが当然だがどうか。

答 顧問弁護士と協議しているが、業務がなされているので返還請求は難しいとの判断だ。現時点では最終決定ではない。

問 生活道路がデコボコだが、工事のチエック体制や指導を強化すべき。統合校など今後学校施設にエレベーターを設置すべき。

答 道路維持・補修費の予算やOBの配置などを協議し、生活道路のバリアフリー化など積極的に実施していく。西・青山の統合小学校にはエレベーターを設置する計画であり、統合中学校は検討していく。

問 ゆつたりストレッチ教室が大変好評だが、指導者の増員や待遇改善、正規職員化、教室の拡充が必要だ。

答 平成24年度の参加者は3万人以上で、21年度の2.7倍。今後、教室の開講数や待遇改善等を協議・要望する。

問 市の子ども・子育て支援事業計画に認可保育所の定員増の目標を盛り込むべき。市長公約の児童館・子育て支援センター増設実現のため、別府商業高校校舎の活用を含め検討を。

答 基本的には既存の認可保育所での対応を考えたいが、市民ニーズを踏まえ、子ども・子育て会議で慎重に協議する。児童館の新設はなかなか適地がないのが現状。

**寄付なのに、
なぜ土地を買ったか**

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

問 所有者が、スパランドの土地の寄付を申し入れたが断り、その後、市に影響力を持つ人物が介入すると、一転、所有者が知らない間に、一部を510万円で買っていた。通常、代金は口座振り込みだが、現金で第三者に渡っている。この間、所有者に一度も確認していない。行政に問題がない

と考えているのか。

答 すでに答弁しているように市には問題がないと理解している。

問 これまで関係者から聞き取り調査はしたのか。

答 調査はしていない。

問 市は、土地を買収したとして、所有者が知らないうちに、浜田市長が登記を代行する登記嘱託書を法務局に提出している。しかし、所有者の名字のうち1字の冠が違っていた。市は所有権移転登記を所有者に確認したのか。有印私文書偽造及び行使に当たらないか。

答 所有者の代理人と称する人を通じて押印してもらった。誤字があったことは遺憾で、弁護士とも相談したい。

問 所有者に確認すれば分かることを、なぜしなかったのか、疑問は深まるばかりだ。土地売買では異常なものを感じる、ごみ焼却炉運転委託のよ

傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階へお越しください。傍聴席は80席あり、車椅子席も7台用意しております。



◆聴覚障がい者の皆様の議会傍聴については、手話通訳、要約筆記の対応をしております。傍聴を希望される方は、傍聴日の3日前までに大分県聴覚障害者協会にお申し込みください。

【申込先】

大分県聴覚障害者協会
大分市大津町

1丁目9番5号
☎097(551)2152
fax 097(556)0556

うに違法と分かっているから税金を使う市長の考えが理解できない。

答 登記問題は弁護士と協議したい。

問 旧南小学校跡地利用と空き家問題はどうか。

答 旧南小学校跡地は年度内に民活の具体策を出す。永石通りの空き家は解体の方向で検討を進めている。

ごみ減量の促進で 焼却経費の節減を

日本共産党議員団

平野 文活 議員

問 ごみの減量を徹底すれば大きな焼却炉は不要で、焼却経費も節減できる。別府市の減量計画はどうか。

答 平成17年度から28年度までに、家庭ごみで13%減、事業ごみで7%増の計画になっている。

問 事業系ごみは増やし

てもいいという計画はおかしい。大分市では平成19年から「一般ごみに混入している産業廃棄物の持ち込み禁止」を打ち出し、燃やすごみを2年間に34%も減らした。別府市では年間2万1千トンの事業系ごみが持ち込まれているが、大分市なみに徹底すれば年約1万トンの削減ができるのではないか。

答 量の把握はできません。



— 新たな焼却炉の建設が進む藤ヶ谷清掃センター —

問 容器包装リサイクル法によりプラスチック製容器包装類も分別するよう求められていますか、

別府市はリサイクルしないで燃やしている。完全に分別すれば、どれほどの減量ができるか。

答 家庭ごみで約4700トン、事業系ごみで約5200トンの減量ができます。

問 事業系ごみとプラスチック類を分別すれば、別府市だけで約2万トンの減量が可能だ。しかし別府市は実行しない。ごみ行政が「合理的判断」ではなく、利権がらみではないかという疑問さえ持つ。だから暴力団につけこまれたのではないか。ごみ減量を徹底すれば、焼却経費の節減ができるのではないか。

答 できます。

誘客プロモーション 事業について

公明党

堀本 博行 議員

問 平成25年度より始めたアニメを活用した新規事業について、その後の

状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 誘客プロモーション事業につきましては、4月27日にキックオフイベントを開催し、これまで特に別府市が不得意とする10代から20代の若年層の姿も会場、駅前周辺では見られ、また他方面から多くのご意見、フェイスペインク、ツイッター等での反響をいただき、改めて事業に対する期待感と事業を展開する側の果たすべき役割等を痛感いたしました。そのような状況の中、多くの誘客に反映させる手段、手法として現状からの修正が、必要な部分も明確になり、現在再度スケジュール並びに実施にあたっての戦略等の調整を行っております。しかしながら、民間レベルにおいては、新規事業に伴う商品の開発、販促の実施等、さまざまな形で活用しようという動きが広がってきており、今後本事業の大きな成果に向け、ONSENツーリズム部全体の事業として取り組んでおります。



— アニメを活用した新たな誘客プロモーション事業 —

問 今後はどう見直すのか。

答 具体的には、タツノコ風呂、宝探し、イベント関連のスタンプラリーは多くのご意見を精査して、これまで以上に充実、戦略を持って開催すべきとの結論に至り、再度見直し実施いたします。

**総合振興センターの
今後について**

市民クラブ

加藤 信康 議員

問 市有の公共施設の管理業務を中心に担ってきた総合振興センターと別府市の関係について、どう認識しているか。

答 行政活動の一部を代行し、補完する公益法人として設立された経緯と、これまで果たしてきた役割は十分認識している。今年から一般財団法人への移行を選択した。収益により自立的な経営を目指しているが、市が100%出資する法人に変わりはなく、組織と経営について市が責任を持って関与しなければならぬと考える。

問 総合振興センターへの市の出資金は400万円、一般財団法人への移行で2年連続赤字になると自動的に解散となる。市が資本金を増資するなどの支援は出来ないか。

答 一般財団法人への移行を選択したことから経営には自主性が求められる。法人の利益から資金を内部留保することが望ましい。現在の時点で、増資は検討していないが、経営状況を適切に把握しながら必要に応じて検討したい。

問 職員は日々不安の中で仕事をしている。職員の士気を上げるためにも将来像をはっきり示してもらいたい。

答 振興センターは、段階的縮小を基本に自主独立や民間企業との連携、廃止も含めて検討を重ねている。市として、臨時を含めた90人の職員のことは責任を持って考えていきたい。



浜田市政を振り返って

自民党議員団

河野 数則 議員

問 平成23年2月自民党議員団との政策協定の履行のうち、農山、漁業を守るための担い手総合支援について、中山間地域と市街化調整区域内の農地に対する支援補助の差異があるが当局側の方針を伺いたい。

答 担い手総合支援を含め、中山間地域と市街化調整区域内の農地について、今後は多方面から検証を行い改善の方向で検討していきたい。

問 亀川内竈地区の堂面棚田について環境保全、景観保護、歴史伝承の面からイベントやお祭りとの区分けして捉え、今後の支援の方向性はどうか。

答 内竈地区堂面棚田事業については地域活性化、歴史伝承、景観保護の面からも今後、継続事業として支援していけるよう

検討していきたい。



— 堂面棚田に支援を —

問 株式会社イズミとの複合商業施設の立地に関する協定書の進捗について伺いたい。また、誘致後の検証の実施、ゆめタウンイズミ誘致の成果や、シネマコンプレックスなどの建設はどうか。

答 人の回遊性が当初の予想より少なかったという点では申し訳ないと思っている。近々、トック交渉を予定しており何らかの回答があると信じている。

図書館のあり方について

公明党

市原 隆生 議員

問 平成24年度の蔵書冊数、登録者数、貸出者数、貸出冊数は、23年度と比べてどうなっていますか。

答 蔵書冊数は18万9979冊で1万1142冊の増、登録者数は1万6641人で2302人の増、貸出者数は7万4643人で4044人の増、貸出冊数は29万503冊で3万798冊の増となっています。

問 図書館の充実に努力していることは評価したが、今の中学生に対して、現在の図書館の環境は決して満足のいくものではないと思っております。閲覧スペースや学習スペースの状況はどうなっていますか。

答 閲覧席は全体で90席、その内、学習優先席は36席です。

問 学力の低下ということが大変に心配されています。議会でも教育現場での指導について様々な指摘がありました。しかし、問題はそこではなく、別府市政が教育を重視していない点にあるのではないか。その象徴が図書館であり、美術館であると思つています。以前にも同じ内容で質問をしましたが、とにかく今の中高生たちに一日も早く、良い施設を提供してもらいたい。駐車場の問題もありますが、中高生は公共交通機関を利用します。図書館本体の充実をお願いしたい。

答 より良い教育環境が、早く提供できるようにさらに努力したいと思えます。

学校へのミストシャワーの設置を

公明党

穴井 宏二 議員

問 連日の暑さで真夏日となる日が続いており、二ユースでも熱中症で搬送されたということが報

じられている。特に子どもと高齢者の方が熱中症にかかりやすい傾向が見られるため、十分な対策が必要である。そこで今回は、学校における子どもへの熱中症対策でお聞きしたい。福岡県糸島市では、昨年からの熱中症対策として、ミストシャワーを学校の運動場と校舎の間に設置していますが、児童の声として、「気持ちがいい!」「涼しい!」などの声があると聞いておりますが、どのような効果があるかお伺いしたい。

答 ミストシャワーは、テーマパークや、ショッピングモールなどの屋外施設において夏場、涼しさを提供するために設置しているようです。これは、水を霧状にして噴霧し、その空間の気温を下げる効果があると聞いております。

問 学校現場においても、周知や健康観察を行い運動の際の水分補給など適宜対策を取られているようですが、ミスト

シャワーにおいても熱中症予防に効果があると聞いております。私も他の自治体にお伺いしたおり体験させて頂きました。が、体全体が涼しさにつつまれるようです。別府市でも子どもの大事なものを真夏の暑さから守るために各学校に設置してはどうか。

答 別府市では、教室に扇風機を設置しておりますが、今後、各学校の状況を把握すると共に、他市の状況を研究して検討していきたい。

国民健康保険事業について

自民党議員団

野上 泰生 議員

問 別府市の国保事業は、平成24年度で1億8千万円収入不足になったが、今後の国保会計の見通しは。

答 歳出における医療費は年平均で2%程度あがっています。一方、収入は伸び悩んでいます。今後の国保財政も厳しい

状況となることが予想されます。

問 平成24年度は、2億円を一般会計から繰り入れた。このままでは、単純に計算しても今後5年で10億円以上の赤字になる。市民の3割弱の国保被保険者の負担軽減のために、市民全員から預かっている一般会計のお金を使うのはいかがなものか。

答 国保会計は特別会計であり、独立採算が原則です。国保の赤字は国保会計の歳入の確保や歳出の抑制で対応すべきです。保険税のアップも考慮する必要があります。

しかし、現状は加入者の年齢水準が高く、医療費がかかることや、保険税負担が重く、やむを得ない面もあります。

問 医療費の抑制を図るためには、市民の健康増進を図る事が大事。また、医師会などと連携して持続可能な地域医療の在り方を協議する必要があるが、市長の考えは。

答 国保会計の健全化のためにも、医療費の抑制は重要です。地域保健委員会などの場を通して、持続可能な地域医療の在り方に関し、医師会や保健師会などと協議をしていきたいと考えます。

虚礼廃止にご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行ってまいります。別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることにしていきます。政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ること、お祭りへの寄附をすることは、法律で禁止されています。また、有権者の皆様も、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

行財政・議会改革等 推進特別委員会先進地視察

議会の活性化を目的とした、行財政・議会改革等推進特別委員会が、先進地視察を実施しました。佐賀市、武雄市、佐世保市(6月27日～29日)において、「市民との対話による開かれた議会のあり方」、「民間主導によるまちづくり」、「指定管理者制度を活用した行財政改革」等



全国市議会議長会より 永年勤続市政振興功労者表彰



去る5月22日開催の第89回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により、本市議会から泉武弘議員が議員在職30年特別表彰を、国実久夫議員が10年表彰を受賞されました。

(写真左から、浜田博市長、泉武弘議員、国実久夫議員、吉富英三郎議長)

ホームページの紹介

別府市議会では、皆様に市議会の情報を提供するため、本誌「べっぷ市議会だより」の発行に加え、ホームページを開いたしております。

ホームページでは、市議会議員の紹介、議会中継、議事録の検索など多くの情報を掲載していますので、是非ご覧ください。



編集後記

広報広聴委員会は、9月から始まる「市民と議会との対話集会」の準備に追われています。

今回の対話集会は、市民の皆様と議会が直接に意見交換を行う初めての試みです。集会に参加いただいた方には、「議会の仕組みや役割」「議会の改革について」「議会で決まった事」等を分かりやすくお伝えする必要があります。そのため原稿や資料を、議員が協力しながら作成しています。

ベテラン議員から新人議員まで、チームになって、議論を重ねながら一つのものを作っていく過程は得難い経験を与えてくれます。

市民の皆様には、ひとりでも多く対話集会にご参加いただき、議会の事をご理解頂きたいと願いながら、資料作りの作業を進めていきます。

広報広聴委員会
副委員長 野上 泰生